

# 令和3年度 第2次評価対象事業一覧(評価シート抜粋)

| 評価事業／決算額                               | 事業目的等   | 所管課が課題と考える内容   | 所管評価                            | 評価の視点  | 頁             |
|--|---|--|---------------------------------|--|---------------|
| 庄原市LED防犯灯設置補助金／291千円<br><br>総務部危機管理課   | 防犯を目的としたLEDの照明器具を設置する住民自治組織に対し予算の範囲内において補助金を交付し、住民生活の安全確保と地球環境対策を推進する。                | 既設のLED照明以外の照明の防犯灯を更新する際、本事業の対象としていない。  | 拡<br>充                          | 本事業は、原則新規設置を対象としているが、蛍光灯より低消費電力・長寿命であり維持管理負担軽減や持続的な防犯効果が期待できるLED照明への初回更新についても対象を拡充すべきと考え、意見を求める。 | 7<br>・<br>8   |
| ファミリーサポート事業／283千円<br><br>生活福祉部児童福祉課    | 地域において子どもの預かりの援助を行いたい者と援助を受けたい者を会員として組織化し、育児に関する援助活動を行うことにより、安心して子育てができる環境づくりを行う。     | 保育支援が充実してきているため、依頼件数は減少しているが、常態的な利用がある。<br>また、ひとり親家庭などには重負担感があること、課題を抱える家庭への提供会員のスキルアップも必要である。 | 現<br>行<br>ど<br>お<br>り           | 事業趣旨に賛同いただいた方で組織される事業のため、会員数や利用件数では効果が図れない。<br>安心して利用できるよう提供会員のスキルアップや利用負担額を検討する必要があると考え、意見を求める。 | 23<br>・<br>24 |
| 木の駅プロジェクト事業補助金／208千円<br><br>企画振興部林業振興課 | 住民が間伐材等を「木の駅」と呼ばれる集荷場所に搬入し、地域通貨等を得て商店等で使用する取り組みに対して補助金を交付し、地域や市民の参加による里山づくりの促進を目的とする。 | 行政が誘導して事業開始した場合、事業団体の自立をいかに促していくかが重要である。<br>市内の森林所有者・出荷登録者が高齢化し、木材の搬出や運搬等、負担の少ない出荷方法の検討が必要である。 | 終<br>了                          | 平成26年度の東城木の駅プロジェクト事業開始以降、他地域への事業拡大を図ったが、木材の集積実績が伸びていない。<br>他地域への波及は難しいと考えており、当該補助金の存廃について意見を伺う。  | 49<br>・<br>50 |
| 農林道補修補助金／176千円<br><br>環境建設部建設課         | 農林道の補修をしようとする受益者に予算の範囲内において補助金を交付し、受益者の負担軽減及び地域環境の整備を図る。                              | 対象が、新設工事、改築工事又は修繕工事のため、碎石で補修するよりも内容、個人負担額が大きくなる。   | そ<br>の<br>他<br>の<br>見<br>直<br>し | 生活道整備補助金に統合が可能である。   | 61<br>・<br>62 |